事業番号 新27 - 0027

					平成 2	2 7 年度行	T政·	事業レ	ビュ	_	・シート(-]	3土交	通省	î)
	事業名	ICTを決	舌用した訪	日外国人観光				担当部			観光庁					作成	責任者	
事	集開始年度	平原	戊27年度	事業 (予定	終了	終了予定	なし	担当	課室	1	観光地域振興詞	#		課	長	後藤	貞二	
£	計区分	一般会	会計															
(,	(具体的な 第12条~第14条								計画、		観光立国実現に向けたアクションプログラム2015							
主要政策·施策 観光立国								主要	経費		その他の事項経費							
(目:	指す姿を簡	が日本	国内をどの	のように周遊し	ているな	ルピックの開催効果を地方に波及させるため、新しい広域観光周遊ル一トの整備が求められている。一方で、訪日外 いるかの動態が把握できていないのが現状である。そこで、訪日外国人旅行者の旅行動態の実態及び潜在的なニー 施することで、新たな周遊ルートの考案、世界に通用する魅力ある観光地域づくりに資する材料とする。												
(5行	工業概要 程度以内。	程度以内。														分析す		
芽	尾施方法	直接到	実施															
		当初予算				24年度					26年度 -		27年度 100		28年度要求		求	
東京		E予算		_		-			_									
7	・ 算額・	の状	の状型在度へ繰越し		-			_			-		-					
			予備費等		_													
				m头 () 計		0		0			0		100)		0		
		執行額			-			_										
			執行率			_		_			_				_			
		定量的な成果目標			成果指標			単位		,	24年度	254	25年度 26年月		度	目	標最終 27	終年度 年度
	果実績							成果実績	件	T							$\overline{}$	
(ア	ウトカム)	27年度において、調査結果 を2事業で活用する。			数		事業	目標値	件								2	
								達成度	%	_								
	成果目標	限及び	成果実績	(アウトカム)	欄につ	いてさらに記載	が必	要な場合(よチェッ	ク	の上【別紙1】に	記載			「エック			
				活動	指標				単位		24年度	254	丰度	26年	度	27:	年度活	動見込
		GPS	2得サンプ	『ル数				活動実績	DL							_		
								当初見込み	DL								20,0	00
				算出	根拠				単位		24年度	254	∓度	26年	度	;	27年度	見込
単						_		単位当たりコスト	円								4,98	37
	· ·		予算	执行額/GP	S取得·	サンプル数		計算式	/							99,74	99,742,000/20,000	
平	_	目		27年度当初	予算	28年度要求					Ė	Eな増減	理由					
成 2	諸謝金			0.2			*	百万円未	満を四打	捨3	五入しているため	り、「予算	草額∙執	行額」欄と	:誤差	きが生!	ごてい	る。
(単位:	職員旅費			0.3														
型 2 三 8	委員等旅費 観光振興調			0.1														
:百万円)	まれて 恢 典 説	且其		99														
~算																		
内訳		計		99.6		0												

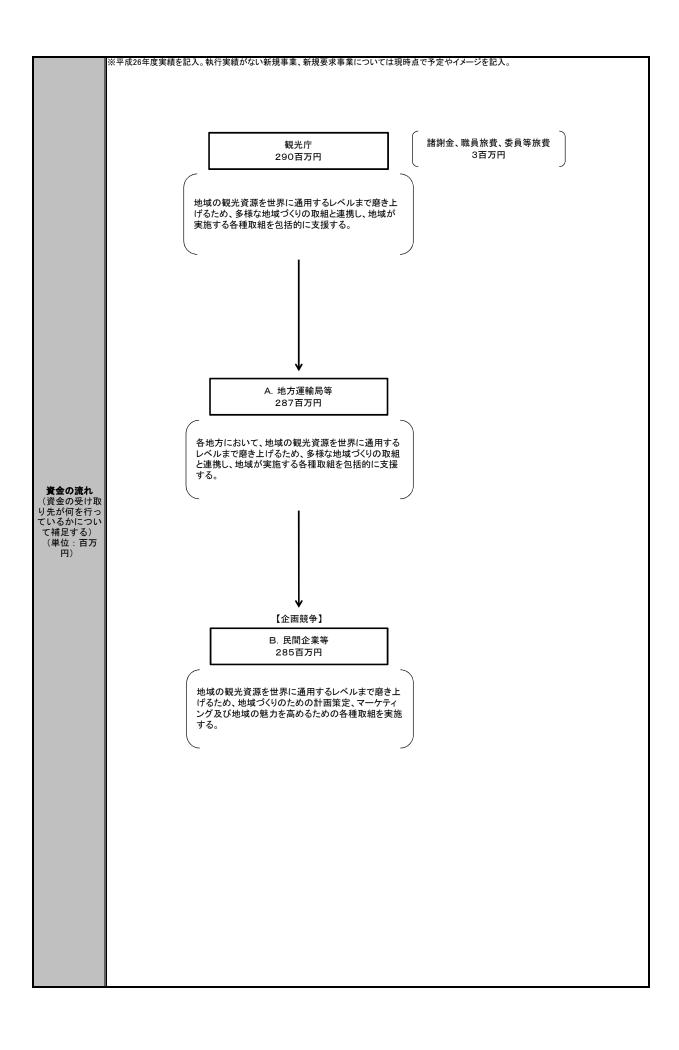
			事業	所管部局による点検・	改善	
		項	目		評価	評価に関する説明
国費投	事業の目的	Jは国民や社会のニーズを的	確に反映しているか	0	0	地域を跨いだ訪日外国人の動態を把握し、効果的なイン バウンド政策に活用することは社会的ニーズがある。 王国的な訪ロア国人の期際に接には、複数地域の関係
性入の		、民間等に委ねることができ			0	者、事業者等の相互協力が不可欠であり、このため国が 主導的にICT技術を活用した調査を実施する必要があ ス
必要	事業か。)達成手段として必要かつ適は		系の中で優先度の高い	0	効果的なインバウンド政策のためには、訪日外国人の動態把握が不可欠であり、優先度の高い事業である。
		『保されているなど支出先の選	選定は妥当か。		-	
-		負担関係は妥当であるか。			-	
事業		コスト等の水準は妥当か。			-	
の		の中間段階での支出は合理			-	
効率	費目•使途2	が事業目的に即し真に必要な	ものに限定されてい	るか。	-	
性性	不用率が大	きい場合、その理由は妥当な	い。(理由を右に記載	()	-	
	その他コス	ト削減や効率化に向けた工夫	は行われているか		-	
事業の有	事業実施に	:成果目標に見合ったものとな :当たって他の手段・方法等が	「考えられる場合、そ	れと比較してより効果	-	
773		低コストで実施できているか。			_	
性		見込みに見合ったものである			-	
		施設や成果物は十分に活用で		1047	-	
		業がある場合、他部局・他府 上体的な内容を各事業の右に		†担を行っているか。(役	-	
関連事業		所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果 改善の 方向性	訪日外国人の観光動態の把				
				外部有識者の所見		
			行政事	業レビュー推進チーム	の所見	
	誀	査結果の実際の事業への活	用など、効果的な施	策として効率的に執行で	ごきるよう	努めるべき。
			所見を踏まえた	と改善点/概算要求に	おける反	使状况
		事業による調査結果を各種が :、観光統計調査等に活用する				なお、今年度事業において調査手法が確立され、次年度以
	<u> </u>			備考		
				nu ·J		
			関連する	過去のレビューシートの	の事業番	号
平	成22年度	<u> -</u>	平成23年度	-		平成24年度 -
平	成25年度	 -	平成26年度	新27-031		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 諸謝金、職員旅費、委員等旅費 観光庁 0.5百万円 99. 7百万円 訪日外国人旅行者の旅行動態の動態及び潜在 的なニーズを把握するための動態調査を実施し することで、新たな広域観光周遊ルートの考案、 世界に通用する魅力ある観光地域づくりに資す る材料とする。 【企画競争】 A. 民間企業等 99. 2百万円 利活用できるICTの選定、またビッグデータの整 理及び体系化を実施し、独自の分析手法の確立・他地域への活用の提言を行う。 資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円)

事業番号 新27 - 0028

					TT -P	0 = = ==		== 41 6 1	1.5		1 /	争果		T2/ -	0028		
		n			半风	2 7 年度1	丁収	事業レ	<u> </u>	<u>ーシー</u>	<u>- </u>		国土交	<u></u> 囲省)		
:	事業名	地域資	源を活用し	た観光地魅力				担当部	邓局庁	観光庁				ť	F成責任者		
事	業開始年度	平成	27年度	事業 (予定	終了)年度	終了予定	なし	担当	課室	観光資	源課		課	長長	長﨑 敏志		
会計区分 一般会計 根拠法令 組光立同堆准基本注							政策・	施策名	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間等の確保・強 20 観光立国を推進する								
(,	関拠法令 具体的な 項も記載)	的な 第12条~第14条						関係する計画、 通知等 観光立国実現に向けたアクションプログラム2015 日本再興戦略改訂2015									
主要	政策 施策	観光立国、地方創生							主要経費 その他の事項経費								
(目	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)	活かし		り施策と、体質													
(5行	■業概要 経度以内。 训添可)	度以内。 ・マーケーペング											観光地	域づくりのモデル的			
芽	尾施方法	直接到	実施														
						24年度		25年度		26:	年度	2	7年度		28年度要求		
				77予算	-		-			_		290		441			
				E予算		-		-			_						
-	5 算額・	予算の状		いら繰越し		_		-			_		_				
	執行額	況		へ繰越し		-		_									
(里	位:百万円)			⋕費等		-		_			_				プラム2015 食文化等の観光資源を 対る際立った魅力を持 光地域づくりのモデル的 28年度要求 441 441 441 日標最終年度 29 年度 103 日標最終年度 28 年度 2.5 日標最終年度 30 27年度活動見込		
				計 ————		0		0			0		290		441		
			執行	額		-		-			_						
			執行率	(%)	-			-			-						
		定	≧量的な成	果目標	成果指標			単位	24:	年度	25年度	26年	度				
成果目標及び成果実績		冬抽物	ず年計	ている観光				成果実績	%								
(ア	'ウトカム)	入込物		29年に平	観光入	込客数		目標値達成度	%						103		
		定	≧量的な成	果目標	成果指標			足以及	単位	24:	年度	25年度	26年	度			
	目標及び成	π ct ο	0年1-+1	へ、国内観				成果実績	泊						26 年度		
	果実績 'ウトカム)	光旅行	テにおける	国民一人	国内観	光旅行による		目標値	泊						25		
		当たり		数を2.5泊	一人当	たり年間宿泊	者数	達成度	%								
		定	三量的な成	果目標		成果指標			単位	24:	年度	25年度	26年	度			
	目標及び成							成果実績	兆円						26 年度		
	果実績 'ウトカム)			いて、国内に 消費額を	国内における観光旅行消 費額			目標値	兆円						30		
			りとする。					達成度 %							 "		
	成果目標	 及び		(アウトカム)	欄につ	いてさらに記載	なが必	要な場合	はチェッ	クの上ば	引紙1】に	記載		チェック			
活動	指標及び活	活動指標							単位	24:	年度	25年度	26年	度	27年度活動見込		
	動実績 ウトプット)	按报 报	也域数					活動実績	地域								
•		17.17.	L-74.3A					当初見込み	地域						31		
				算出	根拠				単位	24:	年度	25年度	26年	度	27年度見込		
単	位当たり コスト							単位当たりコスト	円						9,345,000		
			7	予算執行額 /	/採択均	地域数		計算式	/						289,695,000/31		
平	4	<u> </u> 貴 目		27年度当初	予算	28年度要求					<u> </u>	な増減理由	 :		l ————————————————————————————————————		
成 2	諸謝金			0.1		0.6		100万円ま	₹満を四	捨五入し				差が生	上じている。		
単.	職員旅費			3		5											
11 2 : 8	委員等旅費			0.1		0.2											
(単位:百万円 27・28年度子	国内旅行需	要促進	対策庁	287		435											
日万円)年度予算内	费			207													
界内		를‡		200.0		440.0	\dashv										
訳		計		290.2		440.8											

			事業所	所管部局による点検・	改善						
		項	目		評価	評価に関する説明					
国費投	事業の目的	は国民や社会のニーズを的確	[に反映しているか。		0	各地域の多様な地域づくりの取組と連携し、交流人口及び旅行消費を拡大することは社会的ニーズが高い。 地域の多様な取組を糾合し、一体となって取組むモデル					
入の	地方自治体	、民間等に委ねることができな	い事業なのか。		0	的な地域の形成を促進するためには、国の関与が必要で ある。					
必要性	政策目的の 事業か。	達成手段として必要かつ適切	な事業か。政策体系	の中で優先度の高い	0	多様な地域づくりの取組と観光振興の取組を連携し、地域の観光資源を世界に通用するレベルまで磨き上げることは必要かつ適切な事業である。					
	競争性が確	保されているなど支出先の選	定は妥当か。		-	2.00.2 3.00 7.20 7.20 7.20 7.20 7.20 7.20 7.20 7					
	受益者との1	負担関係は妥当であるか。			-						
事業	単位当たり	コスト等の水準は妥当か。			-						
の	資金の流れ	の中間段階での支出は合理的	りなものとなっている	か。	-						
効	費目・使途が	が事業目的に即し真に必要なも	のに限定されている	か。	-						
効率性	不用率が大	きい場合、その理由は妥当か	。(理由を右に記載)		-						
	その他コスト	制減や効率化に向けた工夫に	は行われているか		-						
*	成果実績は	成果目標に見合ったものとなっ	っているか		_						
業の有	事業実施に	当たって他の手段・方法等が	考えられる場合、それ	こと比較してより効果							
効		氏コストで実施できているか。 思いなに思る。 ままのでもる	<i>t</i> .		-						
性		見込みに見合ったものである。			-						
		布設や成果物は十分に活用さ 業がある場合、他部局・他府省		日を行っているか (小	-						
BB		未かめる場合、他の同・他所有 体的な内容を各事業の右に記		旦を打っているか。(皮	-						
連	Ī	所管府省·部局名	事業番号	事業名							
事											
業											
点検	点検結果	世界に通用する際立った魅力]ある観光地域の創	出のため、適切な事業:	執行に努) తువ్					
改											
5善結果	改善の 方向性										
				外部有識者の所見							
				71 HP 13 HM EI *7777 JC							
			行政事業	美レビュー推進チーム	の所見						
	競	争性のある発注方法により、タ	効率的な執行に努め	るべき。							
	i i										
			所見を踏まえた	改善点/概算要求に	おける反	映状況					
	音音	争入札の導入や一者応札の排	们割等に上げ 競争性	た確保! 効率的が劫	ارات ∓ارا	組まい					
	兀兀	チバルの等人に、日心化のか	が明みにより、成チョ		11112487	<i>™</i> 1.0°					
				備考							
					-	_					
	-t		_	去のレビューシートの	り事業番						
-	成22年度	=	平成23年度	-		平成24年度 -					
平	成25年度	-	平成26年度	新27-032							



											事業番·			- 0029		
				3	平成	2 7 年度行	<u> </u>	事業レ	<u> ビュ-</u>	ーシート([3	国土交i	通省	ì)	
4	事業名	力	旅館の約	聲改善•′	情報発	信促進事業		担当部	8局庁	観光庁			•	作成責任者		
事多	美開始年度	平成27年度 事業 (予定)			終了) 年度	終了予定7	なし	担当	課室	観光産業課		課長 西海 重和				
会	計区分	一般会計						政策・施策名 6 国際競争力、観光交流、広域・地域間の連 確保・強化 20 観光立国を推進する						直携等の		
(]	拠法令 具体的な 頃も記載)	観光立国技	推進基ス	本法第15	5条			関係する計画、 通知等 観光立国実現に向けたアクションプログラム20 日本再興戦略改訂2015						ム2015		
主要政策・施策 観光立国、地方創生							主要経費 その他の事項経費									
(目:	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)	資源としての								営からの改善を促業の振興を図る。	すとともに、そのロ	自主的な情	報発	信を促すことで、	、観光	
(5行	業概要 程度以内。]添可)		産学官WGIによる「旅館経営モデルカリキュラム案」の作成、産×学によるケース教材の作成・普及。 旅館が主体となって作成した旅館と地域の魅力を伝えるコンテンツ(動画・画像)の審査、優れた作品のJNTOウェブサイトを通じて世界に発信。													
庚	施方法	委託•請負	l													
						24年度		25年度		26年度	27年	度		28年度要求		
			当初 ⁻	予算		-		-		-	27			30		
1			補正	予算		-		-		-	-					
	・ 算額・ 執行額		年度か	ら繰越し		-		- - -		-	-					
		況	D状 翌年度へ繰越し			-				-	-					
	位:百万円)		予備	費等	-					-	-	-				
		計		0		0		0	27			30				
		執行額														
		執行	亍率(9	6)		-		-		-				フ連携等の ラム2015 発信を促すことで、観光 28年度要求 30 30 目標最終年度 32 年度 32 年度 32 年度 4		
成里	目標及び成	定量的な成果目標		成果指標				単位	24年度	25年度	25年度 26年					
	果実績	産学による自立的かつ継 続的な教育プログラムの実 施する。			当該プログラムを実施する		成果実績	地域数	-		-					
()	ウトカム)				ヨ談ノ 地域数	ログラムを美加 女	19 ත	目標値	地域数	-	-	-	-			
		ле у о о.						達成度	%			-				
	目標及び成	定量的な成果目標 平成32年において、訪日外 国人旅行者数を2,000万人			成果指標			成果実績	単位 万人	24年度	25年度	26年	度			
	果実績 ウトカム)				=+ o #	【国】 按行 字 数		目標値 万人						2,000		
		とする。	日奴で2	,000737	初口グ	「国人派1」 日 奴		達成度	<i>/</i> ///////////////////////////////////					2,000	_	
		定量的な成果目標			成果指標			達成度	単位	24年度	25年度	26年	度			
	目標及び成 果実績	平成32年1	- ±1 \7	r MEI			成果実績	兆円	-	-	-			_		
	ウトカム)	観光客に。	よる旅行	、パヨス 「消費額を	外国人 消費類	、観光客による放 す	を行	目標値	兆円	-	-	-	目標最終年 32 年 32 年 1 標最終年 32 年 32 年 4 日標最終年 32 年 4 日標最終年 32 年 4 日標最終年 32 年			
		4兆円とす	රං 		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			達成度	%	-	-	-		28年度要求 30 30 目標最終年 32 年 32 年 2,000 目標最終年 32 年 4 4 27年度活動見 1 27年度見込 27 一式	_	
	成果目標	票及び成果	実績(フ	アウトカム)	欄につ	いてさらに記載	が必	要な場合	はチェック	クの上【別紙1】に	記載	□я	エック			
红色	と 畑 ひょくご			活動	指標			$ \mathcal{I} $	単位	24年度	25年度	26年	度	27年度活動	見込	
]	指標及び活 動実績		学連携による教育プログラム		を試行	的に実施・検証す	る大	活動実績	校	-	-	-			_	
(ア	ウトプット)	学数						当初見込み	校	-	-	_		1		
				10000000000000000000000000000000000000	根拠				単位	24年度	25年度	26年	使		i i a	
単	位当たり			异山	IK JZ			単位当たり	平 世		20十段		又			
	コスト			27(百7	5/式))		コスト		-	_	_				
平								計算式	/		<u> </u>	-		一式		
成	-	本典		27年度当初	予算	28年度要求		******	#+ m+^		とな増減理由 な「子質額・執	公二安石,488 「	들o 소스	北井ドナバフ		
7	観光振興調 諸謝金	正复		25		27	_ **	日刀門木	何を四括	ī 丑入し(いるた)	以、「ア昇徴『靱	7」領」懶と	识左	か生している。	٥	
位2				0.7		0.4										
<u>.</u> 8	職員旅費			0.1		0.8										
百万円)	委員等旅費			1		1										
) 算 内																
訳							_									
単		計		26.8		29.2										

			事業	所管部局による点検	改善		
		項	目		評価	評価に関する説明	
国費投入の	事業の目的	口は国民や社会のニーズを的確	に反映しているか。	0	観光が我が国の成長を支えるものとして期待される とくに地方においては教育機会が少なく人材育成の 充実が急務となっている。地域における人材育成の みづくりを推進するためには、国が主導して大学や目 体、観光関連団体への連携を働きかけ、自立・持続 な仕組みづくりを促していくことが重要であり、国が写 ることが適当である。	環境 仕組 自治 可能	
必要性	地方自治体	、、民間等に委ねることができな	い事業なのか。		0	産業界及び地方自治体が単体で本事業をい行うことしく、国が産学場合によっては自治体を巻き込みなが施することでモデルを確立する。	
	政策目的 <i>の</i> 事業か。)達成手段として必要かつ適切が	な事業か。政策体系	の中で優先度の高い	0	産学連携による人材育成は喫緊の課題であり、よっ 先度の高い事業である。	て優
	競争性が確	『保されているなど支出先の選系	定は妥当か。		-		
	受益者との	負担関係は妥当であるか。			-		
事業	単位当たり	コスト等の水準は妥当か。			-		
の	資金の流れ	ルの中間段階での支出は合理的	なものとなっている	か。	-		
効	費目•使途	が事業目的に即し真に必要なも	のに限定されている	か 。	-		
率性	不用率が大	きい場合、その理由は妥当か。	(理由を右に記載)		-		
Œ	その他コス	ト削減や効率化に向けた工夫は	は行われているか		-		
業	成果実績は	は成果目標に見合ったものとなっ	っているか		-		
の有効は	的あるいは	当たって他の手段・方法等が考低コストで実施できているか。		と比較してより効果	-		
性		は見込みに見合ったものであるか	-		-		
		施設や成果物は十分に活用され		D. T. T. (0)	-		
		業がある場合、他部局・他府省 k体的な内容を各事業の右に記		旦を行っているか。(役	-		
関連			事業番号	事業名			
事				770			
業							
点検・	点検結果						
改善結果	改善の 方向性						
	!			外部有識者の所見			
			行政事	東レビュー推進チーム	の所見		
	競	き争性のある発注方法により、効	小率的な執行に努め	るべき。			
			所見を踏まえた	改善点/概算要求に	おける反	映状況	
	優	れた提案を募集するため複数に	応募の企画競争を低	足し、一者応札の抑制を	図る。		
	<u> </u>			備考			
			関連する過	去のレビューシートの	の事業番	号	
並	 成22年度	-	平成23年度	-	,- pd	平成24年度 -	//
	成25年度	-	平成26年度	新27-033			//
			, 174-4-1X				

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 観光庁 諸謝金、職員旅費、委員等旅費 2百万 27百万 産学連携による自立・持続的な教育プロ グラムの構築に向けた企画競争を行い、 受託事業者と請負契約を締結 【公募·企画競争】 民間会社 25百万 ・産学連携による教育プログラムの企画・実施・効果検証 ・産学連携による自立・持続的な仕組みづくり・運営体制につ いての検証 資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円)